



聖嶽会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会
〒089-3675
中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
FAX 0156-24-2421
編集 事務局

北海道立農業大学校同窓会

会長 津島 朗



「聖嶽会報」の発行に当たっては同窓会の皆様におかれましては北海道各地で毎年起きる異常気象と戦い、益々ご清栄のことと存じます。

自分事ですが、毎年十一月下旬から本州の方に指導農業士視察研修の機会があるたびに参加する様に心がけています。

全道各地から積極的な農業者の集まりであり作付け品目、経営体の違う方々と交流しながら本州の

違う農業者を見聞する事は大変意義のある事です。ただ参加するまでのエネルギーが大変必要です忙しいので参加出来ないと言われる方もいらっしゃるのですが、より忙しい人ほど参加傾向にありエネルギーがある様に感じます。

話は変わりますが、世界的に気象の異常が起き、また世界の人口が八十億人を超えて、ウクライナ戦争が食糧の危機管理を世界に知らしめる事になってきたようです。農大在学中に今でいう食糧不足の不安が必ず来る話を聞いていました。現在の世界情勢を考え

ると、将来的に現実味を帯びてきた様に感じます。職とし食糧生産に関わる我々は世界的視野で日本、それぞれの地域を考え農大同窓生のネットワークで励まし合いながら、同窓会を通じて楽しい同窓会にしていきたいと思えます。今後とも皆様方の協力をお願いします。



【期別世話役一覧】
お気づきの点がございましたら、お手数ですが事務局までご一報下さい。

期別	世話役名	期別	世話役名
農大 25	齊藤 かり	農大 26	日光純一
農大 24	伊藤俊治	農大 27	渡邊基樹
農大 23	堀田秀則	農大 28	鈴木一也
農大 22	熊谷直哉	農大 29	嶋田一也
農大 21	佐藤昭徳	農大 30	嶋田一也
農大 20	三田浩司	農大 31	嶋田一也
農大 19	近藤大樹	農大 32	嶋田一也
農大 18	大崎晋二	農大 33	嶋田一也
農大 17	遠山昇樹	農大 34	嶋田一也
農大 16	上田亮聖	農大 35	嶋田一也
農大 15	小松洋一	農大 36	嶋田一也
農大 14	松井隆弘	農大 37	嶋田一也
農大 13	宮本成行	農大 38	嶋田一也
農大 12	松本耕二	農大 39	嶋田一也
農大 11	石原英之	農大 40	嶋田一也
農大 10	富山和也	農大 41	嶋田一也
農大 9	井出和美	農大 42	嶋田一也
農大 8	岩井敦史	農大 43	嶋田一也
農大 7	笹島嘉郎	農大 44	嶋田一也
農大 6	道下貞夫	農大 45	嶋田一也
農大 5	高井正行	農大 46	嶋田一也
農大 4	石丸博雄	農大 47	嶋田一也
農大 3	堀村昭博	農大 48	嶋田一也
農大 2	和田嘉晴	農大 49	嶋田一也
農大 1	川本秀二	農大 50	嶋田一也
農大 28	芳沢政治	農大 51	嶋田一也
農大 27	仲睦昭夫	農大 52	嶋田一也
農大 26	松崎文一	農大 53	嶋田一也
農大 25	相沢勲	農大 54	嶋田一也
農大 24	河田裕	農大 55	嶋田一也
農大 23	不波利和	農大 56	嶋田一也
農大 22	吉田甫	農大 57	嶋田一也
農大 21	大友諒吉	農大 58	嶋田一也
農大 20	高橋裕貴	農大 59	嶋田一也
農大 19	山本秀幸	農大 60	嶋田一也
農大 18	谷川和樹	農大 61	嶋田一也
農大 17	那賀島允人	農大 62	嶋田一也
農大 16	下田 稔	農大 63	嶋田一也
農大 15	廣瀬正幸	農大 64	嶋田一也
農大 14	若木章宏	農大 65	嶋田一也
農大 13	黒川昌敏	農大 66	嶋田一也
農大 12	黒川昌敏	農大 67	嶋田一也
農大 11	黒川昌敏	農大 68	嶋田一也
農大 10	黒川昌敏	農大 69	嶋田一也
農大 9	黒川昌敏	農大 70	嶋田一也
農大 8	黒川昌敏	農大 71	嶋田一也
農大 7	黒川昌敏	農大 72	嶋田一也
農大 6	黒川昌敏	農大 73	嶋田一也
農大 5	黒川昌敏	農大 74	嶋田一也
農大 4	黒川昌敏	農大 75	嶋田一也
農大 3	黒川昌敏	農大 76	嶋田一也
農大 2	黒川昌敏	農大 77	嶋田一也
農大 1	黒川昌敏	農大 78	嶋田一也

北海道立農業大学校

校長 下堀 亨



今年一年を振り返って

今年も収穫の秋が終わり、寒さが増し冬本番を迎えようとしています。

同窓会の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年は記録的な猛暑で、農業者の皆様は大変な御苦労をされたかと思えます。農大でも学生や職員が大変な暑さの中で、実習に取り組んでおりました。

五月以降、感染症対策の規制が大幅に緩和され、農大の行事対応もほぼコロナ前の状況に戻りました。春の強歩大会や夏の体育祭では、学生たちは元気に走り回り、農大祭や野菜即売会、農大市などでは大勢のお客様に足を運んでいただきました。

さて、農大の学生数は少子化の影響などから、一学年の定員八十八名に対しこの数年六十名から七十名前後で推移し、定員に対する充足率は八割程度となっており、不足が顕著です。令和六年度入学募集者はさらに減少し、現段階で五十名程度となっており、学生の確保は喫緊の課題となっております。

一方で、学生の内訳は、令和の時代以降、非農家出身者が約半数、道外出身者が四分の一、女子学生も二割程度を占めるようになりました。道内の農家子弟がほとんどだった頃とは異なり、非農家・道外の出身者が増加し、これらの学生のほとんどが、道内での就農を希望しております。

農大としてはこの傾向を好機と捉え、道内外の高校へのPRや受験会場の拡大など、学生確保の取組を一層強化する考えであります。

農業をめぐる情勢は、肥料等の資材価格の高騰や異常気象による災害の頻発・激甚化、担い手の減少や労働力不足の深刻化など難しい時代を迎えております。こうした中、農業の人材育成を実施する本校に対する期待はこれまで以上に高まるものと考えており、農大としては、今後とも学生を確保しながら次代の農業・農村を担う優れた農業者を育成してまいります。

本校は今年で七十八年目を迎えました。これまで皆様を含め五千四百五十一名が卒業され、農業の担い手や指導者として活躍されています。この歴史ある本校の名を汚さぬよう、時代に即した教育の充実・強化に職員一同取り組んでまいりますので、同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

実習等の様子



春のクリーン作戦



デントコーン収穫



機械研修

農業大学校 の主な行事

卒業式・入学式

新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、三月六十四名の卒業生を送り出し、四月六十六名の新入生を迎え新年度をスタートしました。



令和4年度卒業式



令和5年度入校式

強歩大会

農大春の恒例行事強歩大会が五月二十六日におこなわれました。今年は、天候に恵まれ、絶好の強歩日和でした。



時間内の完走を目指して頑張ります

キャリアサポート

主体的な進路選択を促す事を目的に企業や市町村との面談ができるキャリアサポートは、今年で六回目の開催となりました。今年度は、感染対策の規制が大幅に緩和され、多くの農業法人や企業に参加いただきマスクなしで相手の顔をはっきり見ながら面接することができました。



真剣に話を聞いています



84団体の参加がありました

ることができました。

農大祭

六月三十日から二日間農大祭が行われました。

一日目は、体育祭が行われ、綱引きやサッカー等で汗を流しました。



畑2綱引きチーム

二日目は一般公開しました。コロナ明けということもあり、昨年より多くの方が来場され、大変賑わった一日となりました。



恒例の焼肉コーナー



キッチンカーも来校

オープンキャンパス 学校見学会 開催

今年度もオープンキャンパスを二回(七月二十八日・八月四日)、学校見学会を二回(六月十七日・八月二十六)開催しました。



学生が主体となって説明(畜産)



在校生より魅力紹介



卒業生からも魅力紹介

農大市開催

農大市が十月二十一日に開催されました。今年度は、四年ぶりに馬鈴薯、玉ねぎの詰め放題も復活しました。当日は、天気にも恵まれ、多くの方が来場され、賑やかな一日となりました。



玉ねぎの詰め放題



焼き芋の販売



「学生が主体となって説明(畑園)」



野菜販売コーナー

期別活動

畑園第四十六期農大同期会

幹事 林 恭平

仕事も落ち着いた令和五年一月二十一日(土)の十九時から帯広市内にて、畑園四十六期十六名と、担任・副担任だった職員二名の計十八名で同窓会を開催しました。新型コロナウイルス感染症のまん延で分散会もできないまま卒業した私たちですが、卒業以来約二



畑園46期同期会 in 帯広

年ぶりに皆で集まることができました。卒業ぶりに会う人もいたりしましたが、現在の仕事の話だったり農大にいた頃の思い出話等々語り合い、楽しく有意義な時間を過ごせました。次回も開催できる機会があれば幸いです。

編集後記

同窓会ホームページを更新し、「聖鯨会報」を掲載しました。是非ご覧下さい。

「聖鯨会報」は、昨年度より希望者のみに郵送しております。会員(世話人)の動向や同窓会についてお気付きの点などがあれば事務局へお知らせ下さい。